



「勝っても負けても一喜一憂せず、逃げずに前を向く」

「勝っても負けても自分の責任でやりたい」

～ 自分の意志、決意でがんばる我が子を信じ、親は温かく見守るだけ ～

校長 岩元 邦俊

令和6年もひと月半が過ぎました。3年生は受験に、1・2年生は三学期を次の学年へのゼロ学期として学校生活を頑張っています。職員の方も令和5年度の教育活動のまとめ・振り返りと令和6年度の教育活動に向けての計画を立てている最中です。

さて、スポーツ界では、今年の7月から8月にかけて行われるパリオリンピック・パリパラリンピック出場に向けて熱い戦いの模様がTV等で放送されています。選手の皆さんが頑張っているのはもちろんですが、それを支えている周りの方はどんな気持ちなんだろうと考えている中で、私が関心をもった卓球女子について書かれたサイトの一部を抜粋して紹介します。

卓球女子「みうみま」ライバル対決、見守った母たち パリ五輪明暗も成長

あなたの静岡新聞 2月6日(火)8:04 配信

卓球女子のパリ五輪争いで「みうみま」の明暗は分かれた。戦いを終え、2人の母は目を細める。

「成長したな」 挫折越え「楽しむ」境地に平野母・真理子さん「家族も幸せ」「広い海を泳いでようやく岸にたどり着いたのに、もう一度海に出ていった」。

大きな挫折を味わった東京五輪の代表選考から4年。悲願のシングルス切符を手にした平野の母真理子さん(55)は、まな娘の挑戦を感慨深げに振り返る。

一時は重圧で「ラケットを握ると涙が出るような状態」(真理子さん)に追い込まれシングルス枠を逃した東京五輪。団体銀メダルを手にしたことで、真理子さんは「もう卓球を辞めると思っていた」。だから、本人がパリへの挑戦を決めた時、「家族は不安いっぱい送り出した」という。

選考レースは2戦連続8位スタート。また、前回の「負けられない」という精神状態を引きずっていた。ただ、「少しずつそんな自分と客観的に向き合い、どんな結果でも全てを糧にできるようになった」と真理子さん。勝っても負けても一喜一憂せず、逃げずに前を向く。特にこの1年は試合ができることへの喜び、周囲への感謝がプレーに表れていた。「楽しんでます!」。大会のたび、家族に送られてくるメッセージに変化を美観した。

大人のアスリートとして手にした初のシングルス代表。真理子さんは「東京で辞めていたら、ここまで成長できなかつた」と改めて思う。「卓球を楽しんだ先に結果が付いてくる。小さい頃からずっと言ってきたもなかながでなかつたことに、ようやく『美』が伴った。家族にとっても幸せな3年間だった」。

名コンビ解消 伊藤母・美乃りさん「パリ五輪は挑戦の過程」

日本卓球界初の金メダルを手にした東京五輪から2年半。葛藤を抱えたまま走ったパリへの道は険しかった。ただ、伊藤の母 美乃りさん(48)の表情はすがすがしい。「美誠が自分でチャレンジした。その過程が私たちのパリ五輪」大きな決断をして選考レースを戦い抜いた。2023年2月。当時高校生の横井咲桜(ミキハウス)に敗れ8強を逃した全日本選手権直後の国際大会で、松崎太佑コーチ(浜松市出身)がベンチから外れた。

当初は「本能的なプレーを取り戻したい」(伊藤)としていたが、「全日本は美誠にとって本当にショックだった。さまざまな思いを抱えた上で『勝っても負けても自分の責任でやりたい』という考えに至った」と美乃りさん。最初のうちは海外遠征に帯同し、会場内でアドバイスも送っていたが、次第にその頻度は減っていった。伊藤の中学進学から約10年、二人三脚で偉業を成し遂げた名コンビはタッグを解消した。

選考会を勝ち抜くためなら別の選択もあったかもしれない。だが、美乃りさんは「人として成長していく過程で無理にパリに出ても意味はない。1人で走り、納得いくまでやってみるほうが魅力的」と背中を押した。3大会連続の五輪には届かなかったが、後悔はない。「東京までとは違った美誠がいた。この後の人生が色づいて見える」

トップアスリートでも、いや、だからこそプレッシャーと戦い続けていることがよく分かる記事です。また、その様子を近くで見守る家族の胸中は計り知れないものを感じました。頑張っているからこそ応援したいし、支えてあげたいですね。でも、最後は自分だと感じました。自分で決め、それに向かって頑張るしかありません。その姿を見て、家族を含め周りの多くの方々も応援したり、支えてくださったりするものだと思います。

私達も内之浦中学校の生徒達の頑張りを支えていきたいです。保護者の皆様、地域の皆様も本校生徒を今後とも支えていただきたいと思います。よろしくお願いします。

令和6年度新入生入学説明会を実施しました。(1月30日)



1月30日(火)に令和6年度新入生入学説明会を実施しました。内容としては、①施設参観及び授業参観、②小学校との学校生活の違い、③自転車通学について、④保健面及び給食について、等が行われました。

児童たちは終始真剣に授業参観をし、説明に対しても耳を傾けながら聴いている姿が印象的でした。

児童の皆さんの入学を心待ちにしています。

箏の授業を実施しました。（全学年）（2月6日）



【1年生】



【2年生】



【3年生】

2月6日（火）に講師として「本藏理恵」先生を招聘し、箏の授業を全学年で実施しました。日本の伝統文化と受け継がれている「箏」に触れ、実際に弾けることが出来たことは生徒たちにとって、貴重な体験だったと思います。

また、本藏先生とは小学生の時から繋がりがあり、生徒たちとすぐ打ち解けたことも大きな利点でした。この体験を通して、生徒たちは、日本の伝統であったり、音楽の深さであったり、様々なことを学ぶことが出来たと思います。

今後の学校生活に生かされることを期待しています。

また、本藏先生、御指導ありがとうございました。

給食試食会・学校保健委員会・授業参観・学年末PTAが実施されました。（2月16日）



【給食試食会】



【学校保健委員会】



【授業参観】

2月16日（金）に給食試食会・学校保健委員会・授業参観・学年末PTAが実施されました。

給食試食会では、8名の保護者が参加しました。楽しく会話をしながら試食することができました。コロナ感染症の影響のため、3年ぶりの開催でした。ありがとうございました。

学校保健委員会では、「質の良い睡眠について」と題して、東洋羽毛工業株式会社から講師を招聘し、講話をしていただきました。質の良い睡眠には、①朝食をしっかり食べる。②少なくとも寝る1時間前にはメディアOFFにする。③日中は活発に活動する。④温かいお風呂につかる。等が必要と聞きました。まとめとして、睡眠時間の確保は、「成績・運動能力・免疫力アップ」につながるということでした。実りある講話となりました。

授業参観では、全学級「道徳」の授業を行いました。保護者の皆様が熱心に授業を聴いている様子がうかがえました。

学年末PTAでは、学年を通しての反省等が行われました。当日は、多くの保護者の参加がありました。お忙しい中、参加していただき、ありがとうございました。

【三月の行事】

五・六日（火・水）
公立高校入試

七日（木）
校内球技大会

八日（金）
探究的な学習発表会
卒業生を送る会

十二日（火）
卒業式

二十日（水）
春分の日

二五日（月）
修了式 辞任式
PTA主催小中合同送別会

※ 春季休業中は、規則正しい生活を心がけましょう。
(早寝・早起き
・朝ご飯等)

※ 感染症対策に努めましょう。
(換気・手洗い・等)
適度な運動